

二セ電話詐欺の認知状況（令和4年1月末）

1 県内の二セ電話詐欺の認知状況（令和4年1月末）

- 被害認知件数は10件（前年同期比+7件）
- 被害総額は約287万円（前年同期比-約1,171万円）
- 手口は
 - ◎ **架空料金請求詐欺 ～5件**
 - ・NTTファイナンスセンターを名乗って「未納料金がある」と二セのメールを送りつけるもの
 - ・パソコン画面に「ウイルス感染」と二セの警告画面を表示させるもの
 - ・サイトを閲覧中、「登録完了」と二セの通知を表示させるもの
 - ◎ **還付金詐欺 ～3件**
 - 市役所職員を名乗り医療費等の払戻金があるなどとウソを言い、ATMに誘導し、送金手続をさせ現金をだまし取るもの
 - ◎ **ギャンブル詐欺 ～1件**
 - メール等で、「宝くじ当選番号」や「馬券必勝法」等を教えると持ちかけ、当選金や配当金が得られるものと信じ込ませて、手数料等として現金をだまし取るもの
 - ◎ **キャッシュカード詐欺盗 ～1件**
 - 警察官等を名乗って「あなたのキャッシュカード(銀行口座)が不正に利用されている」「キャッシュカードの確認に行く」などと電話をかけた後、自宅を訪問し、あらかじめ用意していた二セのカードと本物のカードをすり替えだまし取るもの

2 県内の二セ電話詐欺の傾向（令和4年1月中）

今年も昨年に続き還付金詐欺の被害が多発しており、還付金詐欺の前触れと思われる不審電話が県内各地で頻発するなど予断を許さない状況です。

また、県内では警察官を名乗る男女から、「逮捕した詐欺事件の犯人があなたの口座を悪用している。」「口座を確認したいので教えて下さい。」「あなたの家にあるお金は二セ札です。」「警察官が確認に行くので、お金を渡して下さい。」といった不審電話も相次いで確認されています。

電話でお金のお話があれば詐欺を疑い、最寄りの警察又は警察相談ダイヤル(#9110)にご相談ください。

3 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和4年1月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	-	-	-
20～29	1	-	1
30～39	-	-	-
40～49	-	-	-
50～59	1	1	2
60～64	1	1	2
65～69	1	2	3
70～79	1	1	2
80～89	-	-	-
90～	-	-	-
合計	5	5	10
うち65歳以上の高齢者	2	3	5

～二セ電話詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和4年1月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	6
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	-
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	-
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	3
キャッシュカード手交型	1
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	-
合計	10